

8	各部鉄筋 (5.3.7)	部位	配筋方法		
		直接基礎	※図示 ・ 各部配筋参照1.11による		
9	圧接完了後の試験 (5.4.10)	外観試験 ※行う (全圧接部)	採取試験 ※超音波探傷試験(第三者) ・ 引張試験 (試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所毎とする。)		
		適用箇所	※構造図による		
		H12建告第1463号に適合する性能	※A級		
		種類	・ ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・ 無機グラウト方式 ・ 有機グラウト方式 ・ 補修加工継手 ・ モルタル充填式継手		
		工法	※第三者機関の評定等を取得している工法		
		鉄筋相互のあき	※評定等の評価内容による		
		品質の確認	※評定等の評価内容による		
		検査	※評定等の評価内容による		
		施工完了後の継手部の試験	・ 外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 採取り ロット ・ 1組の作業班が1日に行った継手箇所にて、最大200箇所程度とする。		
		試験の箇所数	1ロットに対して ()箇所		
		試験項目	・ 全数		
		試験長さ	試験方法		
		試験方法	※JIS Z 3064 (鉄筋コナト用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった継手部への措置		
		11	溶接継手 (5.6.3.5)	適用箇所	※構造図による
				H12建告第1463号に適合する性能	※A級
9	圧接完了後の試験 (5.4.10)	外観試験 ※行う (全圧接部)	採取試験 ※超音波探傷試験(第三者) ・ 引張試験 (試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所毎とする。)		
		適用箇所	※構造図による		
		H12建告第1463号に適合する性能	※A級		
		種類	・ ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・ 無機グラウト方式 ・ 有機グラウト方式 ・ 補修加工継手 ・ モルタル充填式継手		
		工法	※第三者機関の評定等を取得している工法		
		鉄筋相互のあき	※評定等の評価内容による		
		品質の確認	※評定等の評価内容による		
		検査	※評定等の評価内容による		
		施工完了後の継手部の試験	・ 外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 採取り ロット ・ 1組の作業班が1日に行った継手箇所にて、最大200箇所程度とする。		
		試験の箇所数	1ロットに対して ()箇所		
		試験項目	・ 全数		
		試験長さ	試験方法		
		試験方法	※JIS Z 3064 (鉄筋コナト用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった継手部への措置		

6	コンクリート工事	1	コンクリートの種類及び強度 (6.2.1~4)	※普通コンクリート 表6.2.1 設計基準強度 F _c (N/mm ²) 気乾単位 スラブ 適用場所 容積質量(ρ)(kg/m ³) ◎21 2.3程度 ※15 ◎基礎 ◎基礎梁 ・土間スラブ ◎24 ・ ※18 ◎土間コンクリート ・ ※18 ・建築物体(上記除く) ◎18 2.3程度 ※15 ◎捨てコンクリート ◎18
		2	レディーミキストコンクリート (6.2.1)(6.4.1~2)	割合管理強度 ※設計基準強度(F _c)に構造強度補正係数(S)を加えた値以上とする。 ※I類 (JIS A5308「レディーミキストコンクリート」への適合を認証されたコンクリート) ・ II類 (JIS A5308に適合したコンクリート)
7	鉄骨工事	3	セメントの種類 (6.3.1)	表6.3.1 セメントの種類 使用部位 ※普通ポルトランドセメント又は、シリカセメントA種、フライアッシュセメントA種(◎)又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種(◎) ・ フライアッシュセメントB種(◎) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の種、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。 水熱 7日目 28日目
		4	骨材の種類 (6.3.1)(6.5.4)	アルカリシリカ反応による区分 ※A ・ B (※コンクリート中のアルカリ総量 R ₁ =3.0kg/m ³ 以下) ※混和剤 (JIS A6204に適合するA型剤、A型減水剤又は高性能A型減水剤とし、化学系和剤の塩化物イオン量による区分はI種とする。また、防錆材を併用する場合はJIS A6205による防錆材とする。) ・ 混和剤 (JIS A6201に適合するフライアッシュのI種、II種、若しくはIV種、JIS A6206による高炉スラグ微粉末、JIS A6207によるシリカフェーム又はJIS A6202による部換材とする。)
		5	混和剤 (6.3.1)	コンクリートの種類 ※普通コンクリート 適用箇所 ・ 標準仕様書 6.14.1(a)による 設計基準強度 F _c (N/mm ²) ※18 スラブ ※15又は18 セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は、シリカセメントA種、フライアッシュセメントA種(◎)又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種(◎) ・ フライアッシュセメントB種(◎)
		6	無筋コンクリート (6.3.1) (6.14.1~3)	目地寸法 ※標準仕様書 9.7.3による 間隔 ※図示による 位置 ※図示による ひび割れ誘発目地、打機目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 表6.2.4 種類 適用箇所 ・ A種 ◎B種 図示 ◎C種
		7	ひび割れ誘発目地 打機目地 (6.6.4)(6.8.1)(6.7.3)(11.1.3)	打増し厚さ ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ※20mm ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm ◎15mm(土間) ・ 外装タイル後張り面の打増し処理 ※20mm ・ 床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う ※10mm ・ 20mm
		8	コンクリートの仕上げ (6.2.5)(6.6.6)(6.8.2)	せき板の材料 ※合板(◎)※12mm () ・ メッシュ型枠(使用部位 ※構造図による) ・ 床型枠用鋼製デッキプレート(施工範囲 ※構造図による)
		9	打増し厚さ (6.8.1)	スリーブ材 ※標準仕様書 6.8.2(9)(イ)による ◎構造図による 断熱材兼用型枠 ・ 使用する ※25mm以下かつ熱抵抗値 1m ² ・kcal以上 ・ 使用しない MCR工法用シーートの使用 ・ 使用する 使用部位 ※図示による ・ 使用しない
		10	コンクリートの単位水量測定 (6.8.1~3)	◎行う ・ 行わない (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限值は、標準仕様書6.3.2(ウ)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、配合計画書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま打放す。 2)測定した単位水量が設計値±15kg/m ³ を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、その運搬車の生コンは打放しできないが、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内へ安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)測定した単位水量が設計値±20kg/m ³ を超える場合は、その運搬車は打放す前に持ち帰らるとともに、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示する。その後、単位水量が設計値±20kg/m ³ 以内になるまで全運搬車の測定を行い、更に設計値±15kg/m ³ 以内へ安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を書面(配合計画書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、アエータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。 ※構造図コンクリートの材齢28日圧縮強度の推定試験及び構造コンクリートの材齢28日を超え91日以内の圧縮強度の推定試験は公称機関において行う。 ・ 工事現場における供試体の養生方法 ※標準仕様書6.9.2による ・ 構造体コナトの仕上り及びかぶり厚さの確認 ※標準仕様書6.9.6(イ)より確認を行い監督職員に報告する。
		11	コンクリートの試験 (6.9.1~6)	種類 ・ 1種 ・ 2種 常時土又は水に直接接する部分 ・ 無し ・ 有り(適用箇所 ※図示 ・) スラブ ※21 ・ ()
		12	鉄骨製作工場 (7.1.1)(7.1.3)	1 鉄骨製作工場 (7.1.1)(7.1.3) ※建築基準法第77条の5第6項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨センター及び全国鉄骨評価機構(旧(株)全国建築工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める次のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場とする。 (・ Jグレード ◎Rグレード ・ Mグレード ・ Hグレード ・ Sグレード) ※配置する ・ 配置しない
		13	鉄骨製作工場における施工管理技術者 (7.1.4)	鋼材の材質 表7.2.1 種類の記号 適用箇所 規格等 BQR295 柱 ※JIS規格による SS400 大梁、小梁 ※JIS規格による SS400・SNR400 二次部材、ブレース地 ※JIS規格による SN400 造りシヤ ※JIS規格による
		14	高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト 2種(S10T) ・ JIS形高力ボルト 2種(F10T) 高力ボルトの種 ※図示による ボルトの種類、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造図による

5	溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)(7.12.5)	すべり試験 ※行わない ・ 行う(すべり係数試験 ・ すべり耐力試験) 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(イ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。 セットの種類 ※1種(FBT相当)建築基準法に基づき認定を受けたもの 摩擦面の処理 ※プラスト処理(表面粗度5.0µmRz以上) ・ プラスト以外の特殊な処理(リム酸塩処理) すべり試験 ※行わない ・ 行う(すべり係数試験 ・ すべり耐力試験) 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(イ)又は(イ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。
		7
6	普通ボルト (7.2.3)(7.3.2)(7.3.8)	ボルト及びナットの材料等 ◎標準仕様書 表7.2.3 (JIS付属書)による ◎標準仕様書 表7.2.3 (JIS付属書)又はJIS本体規格品(ISO規格)による (JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじボルト、強毒分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナットCの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルト径の値以下とする。) 産金 ※標準仕様書 表7.2.3(4)による 母屋又は前縁の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm ・ 構造図による ボルトの種類、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造図による ◎構造用アンカーボルト セットの種類 (JIS B1220) ・ SNR400B ・ SNR490B ・ ABR400 ・ ABR490 ・ BPE-SD400 ◎構造図による 形状、寸法 ◎構造図による ・ 建方用アンカーボルト 材質 ・ SS400 ・ アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ・ 標準仕様書 表7.2.3による 形状、寸法 ◎構造図による ・ 標準仕様書 7.2.4以外のアンカーボルト 適用箇所 ・ 図示による () 種類 ・ SS400 ・ アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
		9
10	床構造用のデッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの種類、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項(鉄骨基準書 2)による ・ 図示による ◎標準仕様書 7.3.3及びH12建告第1464号第二号による 造りシヤの許容誤差 ・ ダイアグラムをH12建告第1464号第二号(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り 補強方法 ・ 「実合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 全てのダイアグラムはH12建告第1464号第二号(1)(2)に規定する仕様を満足すること ※行わない ・ 行う(仮組を行う範囲 ※図示による)
		12
11	製作精度 (7.3.3)	鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする フィラープレートの材質 ※SS400とする
		17
12	溶接接合 (7.5.4)(7.5.7)	鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする フィラープレートの材質 ※SS400とする
		19

2	耐火被覆 (7.9.2~8)	素地の種類 重熱めつき鋼面の耐火被覆 ※標準仕様書 表18.3.2のA種 ・ 標準仕様書 表18.3.2のB種 ※E-P-Gの適用箇所は18.3.2のA種 ・ 標準仕様書 表18.3.2のC種 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・ 行う 適用箇所 ※図示による 塗装の種類 ※図示による ※行わない				
		2	軽量形鋼構造 (7.11.2)	鋼材の種類 重熱めつき鋼面の耐火被覆 ※標準仕様書 表18.3.2のA種 ・ 標準仕様書 表18.3.2のB種 ※E-P-Gの適用箇所は18.3.2のA種 ・ 標準仕様書 表18.3.2のC種 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・ 行う 適用箇所 ※図示による 塗装の種類 ※図示による ※行わない		
8	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	2	ALCパネル (8.4.2~5)	種類 厚さ 長さ 幅 単位重量 表面加工 耐火性能 工法種別 (mm) (mm) (mm) (N/m ²) 外壁用 ※100 ・ ・ 平 ・ 意匠 ・ 60分 ・ A種 ・ B種 内仕用 ※100 ・ ・ 平 ・ 意匠 ・ 60分 ・ 無 ・ C種 ・ D種 ・ E種 屋根用 ※100 ・ ・ 平 ・ 意匠 ・ 30分 ・ F種 床用 ・ 100 ・ ・ 平 ・ 意匠 ・ 60分 ・ 無 ・ 150 ・ ・ 平 ・ 意匠 ・ 120分 外壁、屋根パネルの積法 1章 16 適用区分による風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の耐風圧性能 パネル幅の最小風速が300mm未満とする場合 ※図示 ・ パネル相互の目地幅(mm) ※長さB、短辺 5 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm) ※15 ・ 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネル製造所の仕様 ・ や心を等す欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する		
		3	押出成形セメント板 (8.5.2~5)	種類 厚さ 長さ 幅 単位重量 表面加工 耐火性能 取付工法の種別1~2 (mm) (mm) (mm) (N/m ²) 外壁 ※フラットパネル ・ 50 ・ 60 ・ デザインパネル (図示) ・ 50 ・ 60 ・ 600 ・ タイルベースパネル ・ 60 内仕 ※フラットパネル ・ 50 ・ 60 ・ デザインパネル (図示) ・ 50 ・ 60 ・ 600 ・ タイルベースパネル ・ 60 外壁パネルの積法 1章 16 適用区分による風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の耐風圧性能 パネル幅の最小風速が300mm未満とする場合 ※図示 ・ パネル相互の目地幅(mm) ※長さB、短辺 5 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm) ※15 ・ 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネル製造所の仕様 ・ や心を等す欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する		
9	防水工事	1	アスファルト防水 (8.2.2~5)	アスファルトの種類 3種 防水層の下のモルタル塗り ※適用しない ・ 適用する(施工範囲 ※図示 ・) 層保護防水 防水層の種類 表8.2.3~9 種類 施工箇所 断熱材(◎) 絶縁用シート 立上り部の保護工法 ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ・ B-1 ・ B-2 ・ A-1-1 ・ A-1-2 ・ A-1-3 ・ B-1-1 ・ B-1-2 材質 JIS A 801(絶縁用)無鉛に塗布(絶縁用)ポリスチレンフォーム新製(又は新製)厚さ20mm(又は新製)厚さ20mm(又は新製)厚さ20mm ※フラットヤーンクロス 70g/m ² 程度 厚さ (mm) ※25 ・ 50 立ち上り部への断熱材及び絶縁用シート ・ 設置しない ・ 設置する		
		1	アスファルト防水 (8.2.2~5)	アスファルトの種類 3種 防水層の下のモルタル塗り ※適用しない ・ 適用する(施工範囲 ※図示 ・) 層保護防水 防水層の種類 表8.2.3~9 種類 施工箇所 断熱材(◎) 絶縁用シート 立上り部の保護工法 ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ・ B-1 ・ B-2 ・ A-1-1 ・ A-1-2 ・ A-1-3 ・ B-1-1 ・ B-1-2 材質 JIS A 801(絶縁用)無鉛に塗布(絶縁用)ポリスチレンフォーム新製(又は新製)厚さ20mm(又は新製)厚さ20mm(又は新製)厚さ20mm ※フラットヤーンクロス 70g/m ² 程度 厚さ (mm) ※25 ・ 50 立ち上り部への断熱材及び絶縁用シート ・ 設置しない ・ 設置する		
10	工事名	岡山市中央卸売市場コテナ置場新築工事				
		面名	コテナ置場 岡山市建築工事特記仕様書(2)			
11	No.	A-02				
		岡山市市場事業部 令和7年4月				
12	建築	課長	主幹	課長補佐	課長	担当
		課長	主幹	課長補佐	課長	担当
13	設備	課長	主幹	課長補佐	課長	担当
		課長	主幹	課長補佐	課長	担当

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for metal work (14), left work (15), and concrete work (16). Details include material specifications, construction methods, and performance requirements for various components like anchors, aluminum, steel, and concrete.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for building work (16), door/window frames (17), and doors (18). Details include material specifications, construction methods, and performance requirements for doors, windows, and frames.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for weight/shield (19), light weight (20), overhead (21), glass (22), glass block (23), glass sash (24), glass block (25), glass film (26), and electrical equipment (27). Details include material specifications, construction methods, and performance requirements for glass and electrical components.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for curtain wall (17), construction work (18), and finishing work (19). Details include material specifications, construction methods, and performance requirements for curtain walls, construction, and finishing work.

Main specification table with columns for item number, name, and detailed technical requirements. Includes sections for 1 接着剤, 2 ビニル床シート, 3 カーベツト敷き, 4 合成樹脂塗床, 5 防じん用塗床, 6 フローリング張り, 7 畳敷き, 8 せつこうボード, 9 壁紙張り, 10 断熱材打込み工法, 11 断熱材現場発泡工法, 12 断熱材の原材料, 13 フリーアクセスフロア, 14 カーテン及びカーテンレール, 15 ブラインドボックス及びカーテンボックス, 16 点検口, 17 屋外掲示板, 18 鋼製書架及び物品櫃, 19 くつふきマット, 20 フェンス, 21 天井見切り縁, 22 ピクチャーレール, 23 誘導用床材, 24 旗竿, 25 既製家具, 26 車止め柵, 27 プレキャストコンクリート, 28 間知石及び間知ブロック積み, 29 洗面カウンター, 30 防煙壁, 31 収納家具, 32 流し台ユニット.

Construction and equipment specification table. Includes sections for 21 排水工, 22 舗装工, 23 工事名, 24 図面名, 25 工事内容, 26 工期, 27 建築, 28 設備.

23 植栽及び屋上緑化工事	1	植栽地の確認 (2.3.1.3)	土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験 ・行う ※行わない 電気伝導度(EC)の試験 ・行う ※行わない
	2	植栽基盤の整備 (2.3.2.2~4)	排水 ・設置する(・埋きよ・閉きよ・排水層・縦穴排水) ・設置しない 電気伝導度(EC)の試験 ・行う ※行わない 整備工法 表2.3.2.2 樹木 ・行う(※A種・B種・C種・D種) ※行わない 芝及び地被類 ※行う(※B種) ・行わない 植込み用土 ※現場発生土の良質土・客土 土壌改良材 ・適用する(施工箇所) ・パーク堆肥(6) 製品は以下を満足すること 有機物の含有率(乾物) : 70%以上 炭素窒素比[C/N比] : 35以下 陽イオン交換容量[CEC](乾物) : 70mg/g/100g以上 pH : 5.5~7.5 水分 : 55~65% 窒素含量[N](現物) : 0.5%以上 りん酸含量[P2O5](現物) : 0.2%以上 加里含量[K2O](現物) : 0.1%以上 ・巧泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト) (6) 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」(昭和48年総理府令第5号)の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないもの ひ素 : 0.005%以下 カドミウム : 0.0005%以下 水銀 : 0.0002%以下 ニッケル : 0.03%以下 クロム : 0.05%以下 鉛 : 0.01%以下 有機物の含有率(乾物) : 35%以上 炭素窒素比[C/N比] : 20以下 pH : 8.5以下 水分 : 50%以下 窒素含量[N](現物) : 0.8%以上 りん酸含量[P2O5](現物) : 1.0%以上 アルカリ分(現物) : 15%以下(ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りでない) 施工箇所の土壌及び植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする
	3	支柱材 (2.3.3.2)	※丸太(頭伐材) (6) ・真竹
	4	新植樹木の枯補償 (2.3.3.4)	枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・ 枯補償の期間内に樹木が枯死、枝損傷、形姿不良等となった場合は、同等以上のもの再植樹するとともに、取り除いた樹木の処分を行うものとする
	5	移植樹木の枯損処置 (2.3.3.6)	枯損処置の期間 ※引渡しの日から1年 ・ 枯損処置の期間内に樹木が枯した場合は、伐採及び伏根を行い、良質土で埋め戻し整地するものとする

工事名	岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事				No.		
図面名	コンテナ置場 岡山市建築工事特記仕様書(6)				A-06		
	岡山市市場事業部				令和7年4月		
建築	課長	主幹	課長補佐	課主査	課員	担当書	
設備	課長	主幹	課長補佐	課主査	課員	担当書	承認 検印 署名

株式会社 U・D・D 設計
 〒750-0001 岡山県岡山市東区 1-1-10
 一級建築士事務所登録 岡案 12147号
 設立 1984年 代表取締役 牛田 智之